

2023 10

シーズン到来、アートめぐりはこの一冊で!

秋展
NAVI 2023

月刊
美術

No.577

Since 1975

画廊&美術館へ 行こう!!

秋の話題展×110



日動名品展

10月18日(水)～30日(月) 会期中無休

日動画廊 本店

東京都中央区銀座5-3-16

☎03(3571)2553

10:30～18:30 / 土・日11:00～18:00 / 最終日～17:00

https://www.nichido-garo.co.jp

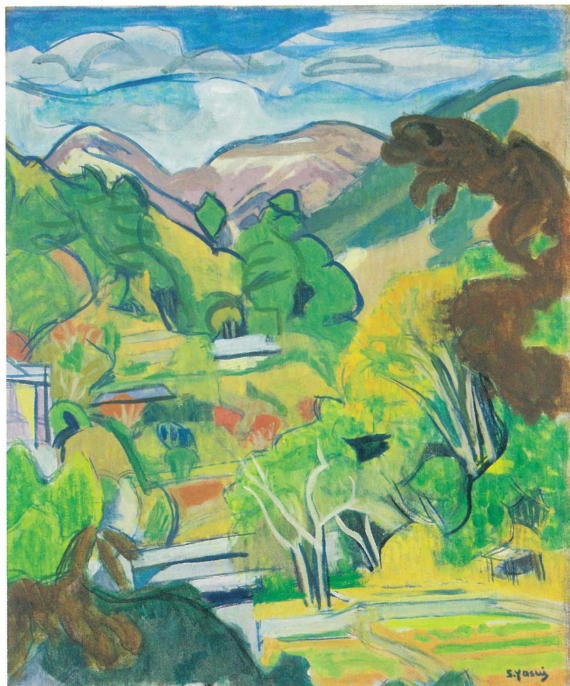
銀座
10月

[出品作家]

安井曾太郎 / 藤島武二 / 梅原龍三郎 / 中川一政
香月泰男 / 向井潤吉 / 熊谷守一ほか多数

銀座で堪能する 近代洋画の黎明から隆盛まで

洋画



安井曾太郎 《湯河原風景》 15F 油彩



梅原龍三郎 《カンヌ暮色》 6F 油彩 1966年



林武 《富士》 10S 油彩

1928年に創業し、日本で最も歴史のある洋画商として、油彩、彫刻、版画をメインに取り扱ってきた日動画廊。国内外の物語作家、現存作家をあわせて取り扱い作家は数百名に及び、なかでも秋の「日動名品展」は芸術の季節を彩る日動画廊銀座本店の恒例展覧会。
今回は安井曾太郎、梅原龍三郎、林武をはじめとした日本の美術史に名を連ねる近代絵画の巨匠名品を一堂に展示する。

※同時開催「Artist Today 2023」



マリー・ローランサン 《白いスカーフの少女》(部分)

洋画

秋展
NAVI

日動名品展

10月18日(水)～30日(月) / 日動画廊本店

デュフィとローランサン —モードに触れた二人—

9月16日(土)～10月15日(日) / ギャラリーためなが

コタボ、ギアマン、ワイズバッシュ、フサロ

—具象の系譜—

9月16日(土)～10月8日(日) / ギャラリーためなが大阪

半田強展 “生き物語”

10月12日(木)～21日(土) / 瞬生画廊

T氏コレクション 山田嘉彦作品展

10月16日(月)～21日(土) / いつき美術画廊

伊勢田理沙展「清きひととき」

10月4日(水)～9日(月) / 日本橋三越本店

石原靖夫展

10月11日(水)～17日(火) / 西武池袋本店

竹淵直美展

10月21日(土)～28日(土) / ぎやらりい朋

中西良展

11月11日(土)～25日(土) / 川田画廊

画業55年記念 柳田補画展「永遠に」

11月8日(水)～14日(火) / 大丸京都店

まほろば佐久に咲く 素描展2023

10月16日(月)～25日(水) / ギャラリー絵夢

江副拓郎個展 追想

—塩田武士『存在のすべてを』刊行記念挿絵特集—

10月11日(水)～17日(火) / 大丸京都店

大山智子展

9月19日(火)～28日(木) / 高輪画廊

作山峻治展 ブルックリンの窓より

10月2日(月)～8日(日) / ギャラリー絵夢

あべとしゆき 水彩画集出版記念展

10月12日(木)～18日(水) /

Artgalerie GALLERY OF TOKYO

A.N./アートランダム・コレクション展

10月9日(月)～15日(日) / ギャラリー絵夢

安富洋貴展

10月2日(月)～14日(土) / 東邦アート

青木恵美子 色彩を紡ぐ—Story of colors—

10月11日(水)～16日(月) / 日本橋三越本店

CLOSE UP

池永康晟 対 山本大貴

「対決展 本戦5×5」

11月1日(水)～12日(日)

GALLERY SCENA.

生誕130年 児島善三郎展

10月7日(土)～12月10日(日)

福岡県立美術館

PICK UP

輝く日本油画

独立美術協会90周年記念

11月2日(木)～14日(火)

日動画廊本店

コタボ、ギアマン、ワイズバッシュ、フサロ —具象の系譜—

大阪
9月

9月16日(土)～10月8日(日) 会期中無休

ギャラリーためなが大阪

大阪市中央区城見1-4-1 ホテルニューオータニ大阪1F

☎06(6949)3434

11:00～19:00

https://www.tamenaga.com

コタボ、ギアマン、ワイズバッシュ、フサロは、20世紀前半パリで活動した外国人画家ピカソ、シャール・キスリング、モディリアーニ、スーチン、藤田嗣治などのエコール・ド・パリ(パリ派)の後に続いて、新しい具象絵画を探求し、独自の

の画風を確立させた画家たち。圧倒的なマチエール効果、大胆な色彩構成、一瞬の動きを捉えるデッサン力、溢れ出すイマジネーションなど、オリジナリティの中にフランス人ならではのエスプリが効いた作品はどれもエレガントかつ印象的

人気を博した。抽象絵画全盛の時代に、彼らが描く具象絵画は戦後豊かになった日本人の心を捉え、日本で現代フランス具象絵画の礎が築かれた。一時代を築いた4人の風景、静物画、人物画、油彩約30点を堪能する。

アンドレ・コタボ
André COTTAVOZ (1922～2012)
フランス中南部の町サン・マルスラン生まれ。単純化したフォルムに中間色、厚塗りのマチエールで風景や生き生きとした花を描いた。

ポール・ギアマン
Paul GUIRAMAND (1926～2007)
フランス北部のサンカンタン生まれ。卓抜した色彩感覚による寒暖色の対比を用いた幻想的な風景を描いた。

クロード・ワイズバッシュ
Claude WEISBUCH (1927～2014)
フランス北東部のドイツ国境に近いティオンヴィル生まれ。卓越したデッサン力によって瞬間的な動きを捉え、セピア系統の色で統一された作品は表情豊かな一瞬を描いた。

ジャン・フサロ
Jean FUSARO (1925～)
フランス最大の港湾都市マルセイユ生まれ。ヨーロッパ各地の海辺や街並みの風景を、白を基調に多彩な青を用いて躍動感ある筆勢で詩情豊かな空間を描く。



アンドレ・コタボ 《バラと百合のブーケ》 81×65cm 油彩

戦後の日本人の心をとらえた フランス具象絵画のエスプリ



ポール・ギアマン 《サーカス》 60×73cm 油彩



クロード・ワイズバッシュ 《カルテット》 87×119cm 油彩



ジャン・フサロ 《サン・ポール》 73×92cm 油彩

デュフィとローランサン —モードに触れた二人—

銀座
9月

9月16日(土)～10月15日(日) 会期中無休

ギャラリーためなが

東京都中央区銀座7-5-4

☎03(3573)5368

11:00～19:00/日・祝～17:00

https://www.tamenaga.com

20世紀初頭のパリを舞台に 新たな価値を創造した二人の画家



ラウル・デュフィ 《風景》 60×73cm 油彩

ラウル・デュフィ
Raoul DUFY (1877～1953)
フランス、ノルマンディ地方の港町ル・アーブル生まれ。音楽を奏でるか如く流麗にそして軽やかに、生の喜びを描いた。

マリー・ローランサン
Marie LAURENCIN (1883～1956)
パリ生まれ。エコール・ド・パリの作家との交流を深め、真珠のように輝く白とパステルカラーで描く詩情豊かな独自のスタイルで婦人を数多く描いた。



マリー・ローランサン 《白いスカートの少女》 46×38cm 油彩

20世紀初頭のパリを舞台に活躍した画家、ラウル・デュフィとマリー・ローランサン。それは美術、音楽、文学、ファッションが互いに影響し合いながら新たな価値の創造を強く求めた時代だった。女性をコルセットから解放したデザインナーのポール・ポワレは、デュフィがデザインした明るく洒落な布地を用いて優雅なドレスを生み出しモード界を席巻。その後もデュフィは1953年にその生涯を終えるまで、油彩画、水彩画、木版画、タピスリー、陶器、そして鮮やかな色彩と大胆なモチーフの布地など、さまざまな分野にその豊かな才能を発揮し、フランス近代絵画史に確固とした地位を築きあげた。女性美を追求するローランサンは、シャネルを纏った社交界の婦人の肖像画を柔らかなパステルトーンで描き人気を博し、その作品は今でも多くのコレクターを魅了する。歴史に刻まれた革新的なパリのモードと、当時の空気を取り入れながら時代を切り開いた二人の画家の作品約30点を一堂に展覧する。

洋画

秋展
NAVI